

# 制振構造の性能評価と 大振幅地震動に対する挙動

＜主催＞ 日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 建物の振動制御性能評価小委員会

本シンポジウムでは、建物の振動制御性能評価小委員会の3年間の活動成果を報告する。はじめに総合的性能評価の必要性について解説し、制振構造の減衰評価の方法と制振効果の静的評価、米国FEMA (Federal Emergency Management Agency) の手法について報告する。またダンパーの損傷に関する知見を整理したうえで、大振幅地震動（長周期長時間地震動や断層近傍のパルス性地震動）が作用した制振構造のダンパーの挙動をもとに、大振幅地震動を想定した場合のダンパーに対する設計者からの要求性能について報告する。

日時：2017年3月8日(水) 13:00～17:30

会場：読売理工医療福祉専門学校 5階503教室（東京都港区芝5-26-16、<http://www.yomiuririkou.ac.jp/access/>）

★建築会館・本会会議室から、隣接の読売理工医療福祉専門学校に会場を変更しました。

## 【プログラム】

司会：福喜多輝（清水建設）

記録：山田聖治（鉄道総合技術研究所）

1. 開会挨拶・主旨説明	： 藤谷秀雄（小委員会主査／神戸大学）	13:00-13:10
<b>【第1部】</b>		
2. 総合的性能評価の必要性	： 古橋 剛（小委員会幹事／日本大学）	13:10-13:30
3. 制振構造の減衰効果の評価		
1) 等価粘性減衰定数による評価	： 欄木龍大（大成建設）	13:30-13:50
2) 制振補強効果のls値による評価	： 小林正人（明治大学）	13:50-14:10
4. 日米の性能評価型耐震設計手法を用いた近年の耐震設計事例	： 向井智久（建築研究所）	14:10-14:40
5. 制振構造の目標性能の説明		
1) 居住者（居住性）の観点から	： 山本雅史（小委員会幹事／竹中工務店）	14:40-15:00
2) 天井と家具・什器の観点から	： 小檜山雅之（慶應義塾大学）	15:00-15:20
<b>【第2部】</b>		
6. ダンパーの損傷に関する文献調査と課題	： 辻 聖晃（京都大学）	15:40-16:00
7. 大振幅地震動に対する制振構造の挙動	： 樫本信隆（日建設計） 富澤徹弥（構造計画研究所）	16:00-16:40
8. 質疑・討議	コーディネーター：五十子幸樹（東北大学）	16:40-17:20
9. まとめ	： 山本雅史（前掲）	17:20-17:30

定員：100名（申込み先着順） ★会場変更に伴い定員を増やしました。

参加費：会員4,000円、会員外5,000円、学生2,000円 ＊資料代2,000円含む

申込方法：WEB事前申込み ▶<https://www.ajj.or.jp/index/?se=sho&id=1669>

申込締切：2017年2月27日(月)

問合せ：日本建築学会事務局事業グループ 伏見 Tel.03-3456-2057